

No.221 **特集** 災害級の気象情報 : ⑩ “なぜまた能登が...” ~繰り返された被災~ !!
 ●能登豪雨は、なぜ被害が拡大したのか : ①事前報道遅れにより 備えができず被害拡大 !
 ●能登豪雨は、なぜ被害が拡大したのか : ②特有の地形・想定外の雨量・地震の影響 !
 私たちにできること… 枚方を考える : 地形による災害時危険性「防災ガイド」「枚方発見」!

能登豪雨は、なぜ被害は拡大したか … ① 事前の報道! 気象庁・NHK 報道資料より

- ▶ 地震で甚大な被害を受けた能登半島を今度は記録的豪雨が。**24H雨量400mm超え 観測史上最大の大雨**、復興の遅れが指摘されていた地域での被害が 更に拡大。20カ所を超える河川が氾濫、仮設住宅の浸水も。さらに、各地で土砂崩れが起き、孤立集落は一時100か所以上に、**命と暮らしが再び脅かされる事態**になった。
- ▶ 9/7の雨雲レーダーでは、朝8時から発達した雨雲が発生し始め、しばらくたった**9時7分**に**線状降水帯が発生**したと、**気象庁が発表**。輪島では観測史上最大の雨量**412mm**を記録。
- ▶ 予測が難しいのは、100mmで終わるか 400mm 降るのか。線状降水帯を正確に予測することは現状では非常に難しい。**現状予測率4割程**。



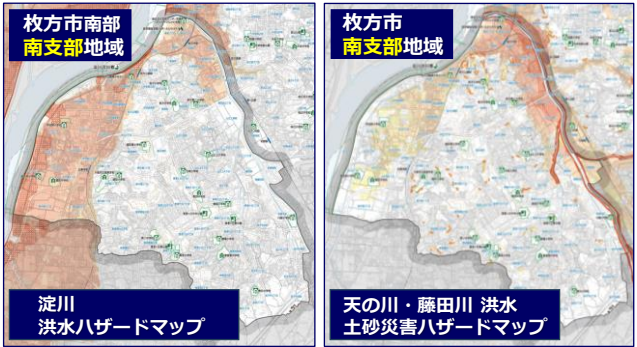
能登豪雨は、なぜ被害は拡大したか … ② 3つの要因! 気象庁・NHK 報道資料より

- ▶ **特有の地形** : 能登半島の河川は、長さが**短い**。それに加え、**山**があり、**急勾配**であるために上流で降った雨が**一気に下流**に流れ、水位が上昇しやすい。岩石・土砂・流木で被害拡大。
- ▶ **想定外の雨** : 護岸設計の際には、“**計画雨量**”を用い、多くてこれくらい降るのではないかと。今回、その計画雨量の**2倍以上**の雨が降った。
- ▶ **地震の影響** : 元日の能登地震によって壊れた護岸が仮復旧のまま(地盤軟弱/隆起/液状化)。
- ▶ 3つの大要因が重なり被害が拡大。**14名死者、行方不明者1名、未だ避難者495人が仮設**で。



枚方市を考える…地形による災害時の危険性! 枚方市 「防災ガイド」より

- ▶ **南支部市域** : 南東部は丘陵地形、西部の淀川沿い海拔3~10m前後の沖積低地。中央の大部分は海拔20~50mの**枚方台地**が占め、勾配の大きい坂道が多い地形。
- ▶ 淀川沿岸では南北を走る京阪本線含む、特に枚方市駅周辺では国道一号線までと、天の川・藤田川 沿いは**低い地域**が続く。
- ▶ 中央部の**枚方台地**には、自然の土類など起伏の山谷があり、**土砂災害**に注意を。
- ▶ 枚方市「**防災ガイド**」をご確認願います。線状降水帯による災害への備えを。また「**枚方発見**」のHPもご参照を。



— 会員の皆さまへ お願い !! 枚方市 災害時の対応を !! 私たちにできること —

- ❖ 各地で起きた「線状降水帯」の実態把握を。自助/共助/公助の連携で災害被害の軽減を !!
- ❖ 線状降水帯による豪雨への準備は、大阪府・枚方市の「防災」だけで対応できるのか? !!

※資料引用 : 国土交通省/気象庁、枚方市「防災ガイド」、NHKニュース/報道「クローズアップ現代」より。